

むさしの福島ともだちプロジェクト 夏季キャンプ報告会

～原発事故避難者の思いと現状～



むさしの福島ともだちプロジェクトは、今年3月に「原発事故によって避難している子どもとその保護者を支援したい」との思いで、活動を開始しました。多くの市民の皆さま、そして武蔵野市の協力で、今年8月に長野県川上村の武蔵野市立自然の村にて、福島県富岡町からの避難した子どもたちとその保護者の方をお招きし、夏季キャンプを実施しました。

今回のキャンプ実施を通して、〈とみおか子ども未来ネットワーク〉の方からお話を伺い、マスコミでもあまり報道されない避難者の思いと実情にふれることができました。また、準備にあたり、思いがけずたくさんの方から募金のご協力をいただき、あらためて、避難者の力になりたいと願う市民の熱意を痛感しました。たくさんの方々とのつながりを今後も大切に育てていきたいと思っています。

秋になりましたが、8月のキャンプの取り組みをご報告し、あわせて、原発事故避難者の思いや実情をご報告する集まりを企画いたしました。ご参加お待ちしております。

日時 2012年11月30日(金) 午後7時～9時 (午後6時30分開場)

場所 武蔵野プレイス 4階 フォーラムA

住所:武蔵野市境南町 2-3-18 電話:0422-30-1905
交通:JR中央線・西武多摩川線 武蔵境駅南口徒歩 1分



報告者 ◆むさしの福島ともだちプロジェクト 代表 福地多恵子

◆とみおか子ども未来ネットワーク 代表 市村高志さん

今年2月11日に結成された、〈とみおか子ども未来ネットワーク〉の代表。

原発事故によって分断されてしまった富岡町民のコミュニティーを再構築するため、避難先の各地で町民の集うタウンミーティング、交流サロン、学習支援などの開催のため、奔走。夏季キャンプに際しても、子どもたち・保護者の参加募集の中心的役割を果たす。現在、都内で都営住宅に家族と避難生活をしている。

◆淑徳大学 総合福祉学部 教授 松園祐子さん

東京都立大学院、いわき明星大学教授を経て現職。都市社会学、アジア社会論が専門。

〈社会学広域避難研究会〉として原発避難者の生き方モデルと地域再生について調査研究を行っている。この夏のキャンプにボランティアスタッフとして参加。

*午後9時終了後同じ場所で茶話会を行います。参加できる方はなるべくマイカップをお持ちください。

参加費 500円

申込 参加ご希望の方は下記のEメール・電話・FAXのいずれかで

①お名前②ご住所③参加人数をお知らせください。

◆Eメール:musashino.fukushima.tomo@gmail.com

◆電話:0422-30-5364 ◆FAX:0422-30-5374

主催 むさしの福島ともだちプロジェクトを進める会

<http://www.tomioka.jpn.org/musashinoindex>

電話:090-8337-8202 (福地)